

整理番号	15	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	江戸川区花火大会		
所属名	生活振興部 産業振興課 商工勤労係	電話番号	(03) 5662-0523 (直通)

事業の目的・概要・対象者等

《事業の目的及び概要》
 毎年8月第1土曜日に江戸川河川敷で開催する花火大会です。14,000発の花火をBGMとともに打上げます。
 区内外の人々に楽しんでいただくとともに、我がまち「江戸川」意識の高揚を図ります。
 区民の代表による実行委員会が運営し、大会運営費は、区内外からの協賛金と区の補助金によって賄われています。
 また、花火大会当日には、多くの関係者、区民の方の協力を得て、警備にあたり、観客の安全を守っています。

《事業の開始年度》 昭和51年度

【17年8月6日】

対象者 観覧者
 区内外から、多くの観客が訪れている。
 平成12年度以降、江戸川区側90万人、市川市側49万人で推移。

活動指標

活動指標	観客数	活動指標	協賛金
17年度	139万人 (16年度) 139万人	17年度	43,704千円 (16年度) 45,809千円

成果・目標指標

成果・目標指標	観客数	成果・目標指標	経費に対する協賛金の割合
17年度	139万人	20年度目標	139万人
17年度		17年度	39%
		20年度目標	43%

*20年度は、経費を1億2千万円として算定。

観客数139万人は、全国一であるとともに、平成12年度以降、数値に変化が無いことから既に目標値に達していると考えています。

大会実施への全面的支援の証である協賛金は「心意気」の表れであり、我がまち江戸川意識を図る指標として最適であると考えます。
 運営費から経常的収入(区補助金及び市川市分担金)を差し引いた金額を協賛金で賄うことができれば、安定して大会を実施することができます。

経費の概要

17年度 事業実施経費 138,491千円

内訳

【人件費と担当職員数】	ア 常勤職員	2.4人
	イ 非常勤職員	0.0人
	ウ 臨時職員	0.0人

27,561千円

当日の区職員従事者295人の時間外勤務手当を含む。

経費の説明

〔人件費を除く経費 110,930千円の内訳〕

花火代	63,735千円
会場設営費	23,034千円
清掃費	6,224千円
警備関係費	9,152千円
印刷事務費	7,648千円
その他経費	1,137千円

〔参考〕

- 区補助金 47,000千円
- 市川市分担金 21,000千円

その他

《実施の根拠となる法令等》
 江戸川区花火大会補助金交付要綱

《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》
 地元町会・自治会・商店会で組織される実行委員会のほか、ボーイスカウト・青少年委員会・体育指導委員会
 が当日の警備を支援しています。

《その他》

- 観覧者の安全確保は最重要課題であり、今後も経費の増大が予想されます。
- 心意気による協賛金は、景気等の外的影響を受けやすく安定確保には限界があります。

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	15	事業名	江戸川区花火大会
		所属名	生活振興部 産業振興課 商工勤労係

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。		4				
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。			3			
4	成果が上がっている。			3			
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。	5					
6	受益者負担の額は適切である。					1	
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。			3			*実施済みだが、さらに拡大の可能性を検討
8	民間事業者への委託等の可能性がある。		4				
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。					1	

所管部長の意見等

花火大会の実施にあたっては、経費面・運営面等すべての面で多くの方々の協力が不可欠である。今回で31回目を迎えるが、非常識な場所取り・ごみの大量投棄・歩きタバコ等のルールの無視など観覧者のマナーの悪化に伴う経費の拡大傾向が強まっている。

また、来場者の安全確保は最優先課題であり、警備費・設営費等の必要経費についても同様である。これらの状況を踏まえ、これまでの大会意義・意味を考慮しつつ、また残しつつ、協賛のあり方、ボランティアの活用等持続性の高い体制づくりを改めて検討する必要がある。

平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	15	事業名	江戸川区花火大会
-------------	----	------------	----------

所属名	生活振興部 産業振興課 商工勤労係
------------	-------------------

外部評価委員評価

そう思う ↔ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。			3			
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		4				
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。		4				
6	受益者負担の額は適切である。			3			*受益者負担なし
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。					1	*実施済み
8	民間事業者への委託等の可能性がある。		4				
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。				2		
10	経費を削減できる可能性がある。				2		

外部評価委員の意見

区内外の方も市川市側の方も年1回の花火大会を楽しみにしていると思う。
 警備に苦労していると思う。
 日本一の集客力を誇る花火大会ではあるが、安全に実施するには、集客に限界がきているのではないか。
 江戸川区のイメージづくりや経済効果につながっている部分もあると思う。
 警備の部分では、更に、委託を進める可能性があるのではないか。
 財政状況等からみると、実施の必要性から考え直す必要があるのではないか。
 この時期になると、毎日のように花火大会が開催されている。持ち回りで実施したり、合同で開催することなども考えても良いのではないか。
 経費を節減して、規模を縮小した花火大会になるのはさみしい。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。